

令和4(2022)年度

関東甲信静越ブロック国際化対応営農研究会 開催要領

1 目的

国連において「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択されて以降、その達成に向けては、公的機関だけではなく、民間企業や市民の参加などを得て、様々な活動が展開されている。

そこで、本研究会では、「持続可能な農業・農村」をテーマに、海外農業についての知見をもつ海外農業研修経験者をはじめ地域の農業者等が一堂に会し、農業・農村の視点から、今後求められる持続可能な農業の実現に向けたアプローチを模索することを目的とする。

2 主催 栃木県国際農友会、公益社団法人国際農業者交流協会、国際農友会

3 後援 栃木県、栃木県農業者懇談会、(公財)栃木県農業振興公社

4 開催日時 令和4(2022)年11月21日(月) 13:00~16:10 (受付 12:30~13:00)

5 場所 栃木県総合文化センター サブホール
宇都宮市本町1-8 電話 028-643-1000

6 内容

開催テーマ「持続可能な農業・農村」

(1) 基調講演 「小さな改善で実現する持続的な農家経営」

講師：ファームサイド株式会社 代表取締役 佐川 友彦 氏

(2) OB活動報告 「デンマーク研修から25年経ち」

報告者：平成8年度デンマーク酪農研修者 山崎 税 氏

(3) JAECが目指すこと(公益社団法人国際農業者交流協会(JAEC))

(4) 日本の畜産をもっと元気に！(畜産アンバサダー)

7 参集者

国際農友会員、海外農業研修生、農業者、農業関係機関等 約200名

8 日程

時間	内容
(10:00~12:00)	(各県組織会長及び農業担い手事業担当者会議)
12:30~13:00 (30分)	受付
13:00~13:30 (30分)	開会
13:30~15:00 (90分)	基調講演 佐川 友彦 氏
(10分)	(休憩)
15:10~15:30 (20分)	OB活動報告 山崎 税 氏
15:30~15:45 (15分)	国際農友会活動紹介
15:45~16:05 (20分)	畜産業の魅力発信
16:05~16:10 (5分)	閉会

9 参加費（1人当たり） 2,000円（学生無料）

10 参加方法

（1）参加申込み方法

別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、令和4年10月5日（水）までに栃木県事務局へFAX・電子メール・郵送で申し込むとともに、参加費も併せて振込願います。

（2）参加費振込先

金融機関名 支店名	足利銀行 黒田原支店
口座番号	普通 5509101
口座名義	かんぶろこくさいかたいおうえいのうけんきゅうかい だいひょう おおりのりこ 関ブロ国際化対応営農研究会 代表 大森則子

※参加経費納入後は、一切返金いたしませんので、予めご承知下さい。

※振込手数料は、振込人負担でお願いいたします。

11 開催事務局

栃木県国際農友会事務局（担当：早乙女）

〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢 2-2-13 栃木県農業者懇談会内

TEL 028-647-2622

FAX 028-647-2629

E-mail : t-kondan@bz04.plala.or.jp

令和4年度/2022

開催テーマ

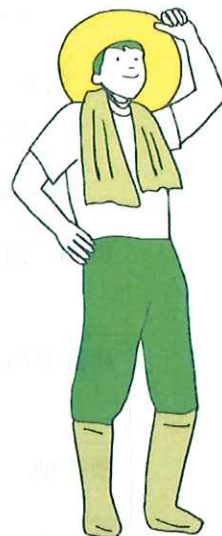
～持続可能な農業農村の発展を目指して～

関東甲信静越ブロック 国際化対応営農研究会

2022.11.21(月)

13:00～16:10

●場所: 栃木県総合文化センター・サブホール ●参加費: 2,000 円(学生無料)



1

基調講演 小さな改善で実現する持続的な農家経営

ファームサイド株式会社 代表取締役 佐川友彦

東京大学農学部、同修士卒。外資系企業を経て 2014 年より阿部梨園に参画。代表阿部の右腕を務め、大小 500 件の業務改善を実施し、小規模ながらスマート経営を実現した。その改善ノウハウを「阿部梨園の知恵袋」としてオンラインで無料公開している。現在はファームサイド(株)を起業し、講演活動や経営支援で各地を周り、農家の経営改善運動を全国へ展開中。現場への深い理解には定評があり、クリエイティブで本質的な課題解決を本領とする。著書『東大卒、農家の右腕になる。小さな経営改善ノウハウ 100』(ダイヤモンド社)



東大卒、
農家の
右腕に
なる。

2

OB 活動報告 デンマーク研修から 25 年経ち

H8年度デンマーク 酪農 山崎 税

日本でも有数の暑い町★栃木県佐野市で畜産と水田を営む。H8年にデンマークで1年間の研修後就農しH13年に研修同期の恵と結婚し現在夫婦を中心に牧場経営。



3

JAEC が目指すこと

公益社団法人国際農業者交流協会(JAEC)

海外農業研修の展開と OB/OG 活動への発展や、技能実習生制度の活用をふまえた国際交流のあり方を考えます。

4

日本の畜産をもっと元気に！

畜産アンバサダー

畜産ティーン育成プロジェクトによる海外研修を通して広い視野と新しい視点を持った将来畜産業を担う高校生が畜産の魅力をもっと元気に！



●共催: 栃木県国際農友会・公益社団法人国際農業者交流協会・国際農友会

●場所: 栃木県総合文化センター(右 QR コード参照)

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8 TEL:028-643-1000

●参加資格: 国際農友会会員及びその関係者、農業高校生、農業大学生

●お申込み: 学生の方は学校もしくは下記までご連絡ください

●お問い合わせ

栃木県国際農友会事務局(栃木県農業者懇談会内)

栃木県宇都宮市一の沢 2-2-13 TEL:028-647-2622

t-kondan@bz04.plala.or.jp



栃木県国際農友会事務局（栃木県農業者懇談会内）宛て

FAX : 028-647-2629

e-mail : t-kondan@bz04.plala.or.jp

令和4（2022）年度 ブロック別各県組織会長及び農業担い手事業担当者会議
関東甲信静越ブロック国際化対応営農研究会（11月21日） 参加申込書

参加組織

申込年月日 令和 年 月 日

機関・団体名	代表者職・氏名
申込者所属	申込者職・氏名
所在地	電話
e-mail	FAX

参加者リスト

No	氏名	役職名	組織会長会議 (午前) 参加	研究会 (午後)		同左 振込
				参加	参加費	
例	国際 太郎	会長	○	○	2,000 円	済み
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
	合計		名	名	円	

申込期限 令和4年10月5日（水）